

自動解約型変動金利定期預金規定

〈複利型〉

1. (預金の支払時期)

この預金は、通帳（証書）記載の満期日に自動的に解約し、利息とともに支払います。

この場合、元利金はあらかじめ指定された預金口座（以下「指定口座」という。）に入金するものとします。

2. (利率の変更)

この預金の利率は、預入日から満期日の前日までの間に到来する預入日の6か月ごとの応当日に変更し、変更後の利率は、その日を預入日としその6か月後の応当日を満期日とする自由金利型定期預金（M型）または自由金利型定期預金の店頭掲示の利率に、この預金の預入日から満期日までの期間に応じた当行所定の利率を加える方式により算定するものとします。

ただし、この預金の利率について、上記の算定方式により算出される利率を基準として別に定めをしたときは、その定めによるものとします。

3. (利息)

(1) この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数について通帳（証書）記載の利率（前記2.により利率を変更したときは、変更後の利率。以下これらを「約定利率」という。）によって6か月複利の方法で計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3) この預金を「共通規定（通帳口・証書口）」第5条第1項により満期日前に解約する場合または第5条第4項および第5項の規定のいずれかにより解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数について次の預入期間に応じた利率（小数点第3位以下は切捨てます。）によって6か月複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。

- | | | |
|---|-------------|----------------|
| ① | 6か月未満 | 解約日における普通預金の利率 |
| ② | 6か月以上1年未満 | 約定利率×40% |
| ③ | 1年以上1年6か月未満 | 約定利率×50% |
| ④ | 1年6か月以上2年未満 | 約定利率×60% |
| ⑤ | 2年以上2年6か月未満 | 約定利率×70% |
| ⑥ | 2年6か月以上3年未満 | 約定利率×90% |

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日とする日割で計算します。

4. (預金の解約)

(1) 通帳口のこの預金を前記1.の満期日自動解約以外の方法で解約するときは、当行

所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して、通帳とともに当行国内本支店に提出してください。

- (2) 証書口のこの預金を前記1. の満期日自動解約以外の方法で解約するときは、証書裏面の受取欄に届出の印章により記名押印して、当行国内本支店に提出してください。

5. (証書の効力)

証書口のこの預金で、満期日に元利金を指定口座に入金した後は、証書は無効となりますので、直ちに当行国内本支店に返却してください。

〈単利型〉

1. (預金の支払時期)

この預金は、通帳(証書)記載の満期日に自動的に解約し、利息とともに支払います。

この場合、元利金はあらかじめ指定された預金口座(以下「指定口座」という。)に入金するものとします。

2. (利率の変更)

この預金の利率は、預入日から満期日の前日までの間に到来する預入日の6か月ごとの応当日に変更し、変更後の利率は、その日を預入日としその6か月後の応当日を満期日とする自由金利型定期預金(M型)または自由金利型定期預金の店頭揭示の利率に、この預金の預入日から満期日までの期間に応じた当行所定の利率を加える方式により算定するものとします。

ただし、この預金の利率について、上記の算定方式により算出される利率を基準として別に定めをしたときは、その定めによるものとします。

3. (利息)

- (1) この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数について計算し、次のとおり支払います。

- ① 預入日から満期日の前日までの間に到来する預入日の6か月ごとの応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数(以下「中間利払日数」という。)について、通帳(証書)記載の中間利払利率(前記2.により利率を変更したときは、変更後の利率に70%を乗じた利率。ただし、小数点第3位以下は切捨てます。)によって計算した中間利払額(以下「中間払利息」という。)を利息の一部として、中間利払日に指定口座へ入金します。ただし、中間払利息を指定口座に入金できず現金で受取る場合には、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して、通帳(証書)とともに当行国内本支店に提出してください。
- ② 中間利払日数について通帳(証書)記載の利率(前記2.により利率を変更したときは、変更後の利率。以下これらを「約定利率」という。)によって計算した金額ならびに最後の中間利払日から満期日の前日までの日数について約定利率によって計算した金額の合計額から中間払利息(中間利払日が複数ある場合は各中間払利息

の合計額)を差引いた残額を、満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3) この預金を「共通規定(通帳口・証書口)」第5条第1項により満期日前に解約する場合または第5条第4項および第5項の規定のいずれかにより解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数について次の預入期間に応じた利率(小数点第3位以下は切捨てます。)によって計算し、この預金とともに支払います。

ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額(中間利払日が複数ある場合は、各中間払利息の合計額)と次の利率により計算した利息額との差額を清算します。

① 預入日の1年後の応当日から預入日の3年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

A 6か月未満 解約日における普通預金の利率

B 6か月以上1年未満 約定利率×50%

C 1年以上3年未満 約定利率×70%

② 預入日の3年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

A 6か月未満 解約日における普通預金の利率

B 6か月以上1年未満 約定利率×40%

C 1年以上1年6か月未満 約定利率×50%

D 1年6か月以上2年未満 約定利率×60%

E 2年以上2年6か月未満 約定利率×70%

F 2年6か月以上3年未満 約定利率×90%

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日とする日割で計算します。

4. (預金の解約)

(1) 通帳口のこの預金を前記1.の満期日自動解約以外の方法で解約するときは、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して、通帳とともに当行国内本支店に提出してください。

(2) 証書口のこの預金を前記1.の満期日自動解約以外の方法で解約するときは、証書裏面の受取欄に届出の印章により記名押印して、当行国内本支店に提出してください。

5. (証書の効力)

証書口のこの預金で、満期日に元利金を指定口座に入金した後は、証書は無効となりますので、直ちに当行国内本支店に返却してください。

以上